

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671200378
法人名	有限会社 グッドライフ
事業所名	グループホーム てんとうむし
所在地	鹿児島県霧島市国分上井903番地2 (電話) 0995-47-4672
自己評価作成日	平成27年4月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年5月13日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームは霧島市の郊外にあり昔ながらの田園に囲まれた風景の中にある。ホームの敷地にはみかんやブルーベリー、さくらんぼ等の果物の木が植えてあり利用者と一緒に収穫し、それを皆で食べることも出来る。また、季節それぞれに花が咲き車椅子の利用者も危険無く庭を散歩することができる。開設者の地元ということもあり近所の方々とも交流が図れ、地域の運動会や夏祭り等に参加したり、老人クラブの会合で認知症について少し話をしたり、奉仕作業にお茶菓子差し入れして絆を深めている。以前利用されていた方のご家族とも交流が続きおばさんを入居させてくれたり、知り合いを紹介してくださったりしている。来訪者から「このスタッフは皆いい人ばかりですね。」と声を掛けてくださることが多い。本当に嬉しいことである。いいスタッフがいてチームワークが取れているからこそ利用者に対してもいいケアが提供できると思っている。いい環境、いい利用者様、いいご家族、そしていいスタッフ、その他いい応援者がそろっていることがホームのアピールしたいところである。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームの近くに公園があり、グラウンドゴルフ競技者や保育園児・地域住民と散歩の際に挨拶や会話を楽しんだり、野菜をもらったりしている。
- ・身体拘束についてのマニュアルを基本に、定期的な勉強会で事例検討を実施し、きつい言葉や表情を含めて身体拘束禁止を全員で共有し具体的な行為について研修している。
- ・地域行事の運動会や夏祭りに参加したり、近くのごみステーションの掃除を職員が行ったり、市認定の「まちかど相談所」を設置して認知症の講演依頼や相談を受けたりして、地域との交流を図っている。
- ・年2回の災害訓練を実施して、利用者が避難した際の見守りの協力ももらっている。災害緊急通報設備などの器具の点検を定期的に行い、災害に対して全職員が意識している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホームの名前と法人の名前の由来がそのまま事業所の理念になっている。スタッフにもその理念を確認している	理念は玄関や事務所に掲示して、スタッフ会議等で確認し合い、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会に参加したり夏祭りに行ったりして交流を図っている。地域の方も寄付金を貰いに来られたりして自然に行われている	地域の運動会や夏祭りなどの行事に参加したり、近くのごみステーションの掃除を職員が行っている。老人クラブの会合の時など認知症についての話しをする等、地域と交流している。地域から野菜やタオル等の差し入れがある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	老人クラブの会合で認知症について話をしたり奉仕活動に差し入れをしたりしていつでも相談に来れるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議内で自己評価や外部評価の結果を配布し説明をしている。出席者からの意見があれば会の中で検討し取り入れるようにしている</p>	<p>会議は定期的に行われ、事業運営状況や活動内容や課題・外部評価の報告などをして意見や提案を情報交換している。出された提案などを職員で話し合い日々のサービス向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議への出席や介護保険の更新等は市役所に出向いて手続きをしている。市の健康福祉まつりも準備の段階から協力している</p>	<p>市や地域包括支援センター担当者には、窓口に出向き利用者の相談や情報を交換してアドバイスを得ている。運営推進会議に出席してもらったり電話などで連携している。健康福祉祭りの設営の手伝いをしたり、地域密着連合会も定期的に行政の参加を依頼している。市主催のグループホーム連絡協議会や各種研修会にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>新人スタッフでもわかりやすいように身体拘束ゼロへの手引きを用いて説明している。ホーム内は拘束はしておらず玄関はいつでも開いている。危険防止のためセンサーで対応できるようにしている</p>	<p>定期的な勉強会で誰でも解りやすい身体拘束についてのマニュアルを基本に、事例検討を実施し、きつい言葉や表情を含めて身体拘束禁止を全員で共有し具体的行為について研修している。日中は玄関は施錠せずに職員間の連携で自由な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>可能な限り研修には出席している。虐待についても経済的、精神的虐待についても説明している</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修があれば参加して勉強している</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約を結ぶ時にきちんと締結、解約等について説明している</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を置いたり面会時に何か聞きたいこと確認したいことはないか声を掛けている</p>	<p>日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意し、利用者からは入浴時などのリラックスしている時に、思いなどを傾聴している。家族からは面会や電話連絡・運営推進会議などの機会に意見を出して貰っている。出された意見等は職員で話し合いケアに反映させている。意見箱も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議においてスタッフからの意見や要望を聞いている。又、日頃から声をかけて必要なものを購入したりして気持ちよく働けるようにしている</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。資格取得にも支援している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就労期間や勤務状況、協調性等かみしながら多少の調整をしている。資格所得希望者には勤務を調整し協力している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験や資格に応じてスタッフにあった研修に参加している。研修後は報告書の提出をし職員会議で報告している。就職後の資格取得希望者は勤務をやりくりしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設での研修に参加できるときは参加し一緒に勉強できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホーム側の都合を無理強いすることなく本人や家族との連絡を密にとって利用する人が不安に思わないようゆっくりと時間をかけるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談や見学の時など時間を気にすることなくじっくりと聞くようにしている。その際ホームでできる事できないことはきちんと話し不信感を抱かないようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始時は双方が戸惑うことも多いため家族の支援をもらったりしながら医療関係のサービスを検討したりすることもある		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お茶を入れてもらったり一緒に掃除や草取りをしたりしながらなるべくできる事はしていただくことで役割意識がもてるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	特に入居間もない利用者は頻繁に連絡を取り合い時に家族の居る自宅へ連れて行ったりして関係を断ち切ったり任せっぱなしにならないようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会は特に制限はない。また、家族同行の外出や外食、自宅や家族の家への訪問等支援している	馴染みの友人知人の訪問があり、継続的關係が途切れないよう働きかけている。面会があると職員も快く受け入れお茶など出して接客を丁寧に行っている。自宅訪問や美容室・店など、よく行っていた所に家族や職員と一緒に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの個性をスタッフはよく理解しておりレクリエーションをしたり気の合う人同士が話せるように場所をつくってあげたりして支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の病院や施設に様子を見に行ったりその時の様子を家族に報告したりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一緒に散歩をしたりして本人の思いを確認している。表現困難者は表情や声のトーン等で判断している。	日々の生活の中で、本人の希望を聞いたり、表情や言葉・しぐさなどから思いや意向を把握し、申し送りノートに記録して職員間の情報交換を密に行っている。思いがけない言葉などにも注目して記録し、個別ケアに取り組んでいる。把握が困難な場合は、家族と連携を取りながら利用者本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族や本人と面接をし今までの生活状況や趣味等を聞くことでホームでの生活が穏やかに送れるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	レクリエーションや日々の生活を観察し心身の状態の把握をすることができる事はなるべく手を出し過ぎないようにしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議や職員会議内において本人や家族・スタッフの意見や報告等を検討し計画を立てている	本人や家族の意向を確認し、担当者会議で話し合い、主治医の意見も聞き介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、状況が変化した時はその都度介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一時的な支援は申し送りで情報の共有を図り長期的な事案が発生した場合はプランを作りなおしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	申し送りを活用して情報の共有をはかっている		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事やボランティアに参加することでホーム内だけでなく地域の一人として生活できるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後においても本人や家族が希望しているかかりつけ医を利用している。往診時は必ず立会い情報の提供や医師からの指示をもらうようにしている	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期的な往診もある。通院は家族の状況に応じて支援を行い、受診結果は家族と事業所が共有している。緊急時の対応は、主治医と連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>往診時は必ず立会い情報を提供している。気になる事項は随時観察事項を把握して報告している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は必ず付き添い情報の提供をしている。面会時は様子を聞いたり退院が近づく時は病院でのカンファレンスに出席している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意思を確認すると共に主治医の体制の確認は家族と一緒にしている。ホームでの対応困難事例等を明らかにすることで家族の不安が増悪しないようにしている</p>	<p>契約時に看取りに伴う対応の指針を説明し、同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して方向性を共有できるよう取り組んでいる。家族の協力があれば、口からの摂取状況を見てぎりぎりまで対応できるようにしている。医療との連携を密にして家族に細かく報告し協力を貰っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AEDを準備しそれを使えるように練習をしている。心肺蘇生等の研修があるときには参加している</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回避難訓練を昼間想定と夜間想定で行っている。緊急時は地域の住人の援助が得られるように非常ベルが外部に向けて鳴るように設置している</p>	<p>年2回、昼夜間想定での避難訓練を実施している。災害緊急通報設備やスプリンクラー・消火器など災害器具が設置されている。外部に向けての非常ベルや緊急連絡網で地域住民との協力体制ができている。利用者が避難し外に出ている時の見守りなどの協力ももらっている。災害時の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの生活行動を理解しながらその人が理解できる表現や支援を行っている。又、プライドを傷つけないように失敗を追及せずさりげなく対応している	定期的に勉強会を行い、利用者の人格と尊厳・権利を守り、個々のプライバシーを確保している。馴れ合いにならないように特に言葉使いや表情に注意し利用者の支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者のペースや行動を把握することでスムーズな支援を心がけ意思の表現が難しい方は質問形式で意思の確認ができるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	強い拒否があるときには無理強いをせず時間をおいたりスタッフを変えたりして気持ちが変わるのを待ったり本人の要望を優先したりしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自立している方は一緒に選んだりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶をいれて配ってもらったり下膳を手伝ってもらったり茶碗と一緒に洗ったりツワの皮をむいてもらったりして参加してもらっている。食事の際もこれは皆でむいたツワだよ。と声掛けしている	旬の野菜を食材に使ったり、利用者の好みを聞き嗜好に配慮した献立を作っている。利用者の力量に応じて食事の準備や下ごしらえ・後片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生会や季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。家族と外食を楽しむ利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材の大きさや形状、水分量の把握、等スタッフ全員がわかるようにしている。好みでマヨネーズを使わない等の支援もしている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日毎食後も口腔ケアの実施と歯ブラシやコップ等の塩素系漂白剤での消毒も行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は紙パンツを使用しているも定時や本人希望時はトイレ誘導をしている。個々のパターンがあるのでそれにあわせて誘導している。	個別に排泄パターンを把握して様子観察をしながら早めにサインを察知して、排泄の自立支援に向けてトイレ誘導をしている。オムツを減らすことや排泄の失敗がないように、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。食物繊維の多い食材や乳製品などで食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳を飲んでいただいたり繊維質の多い食材を使用したりしている。排便確認表で確認しながらトイレを付き添う等している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	おおむね入浴は一日おきに実施しているが、その時の本人の状況に応じて日を変えたり順番を変えたりして変更している	入浴は基本的に週3回であるが、希望に添った入浴ができるように対応している。入浴を拒む利用者には声かけや足浴など柔軟に対応している。シャワー浴や清拭も行なっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分の部屋に行ってゆっくりしたり趣味をしたりテレビを観たりしてくつろいでいる		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を必ずもらいカルテに綴っておくことでいつでも見られるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	草取りが好きな方は支障の無い時にしてもらったり散歩に行ったりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>時には車でドライブや家族の家・山等、出かけることもある。近所の散歩はよく出かけている。</p>	<p>日常的には周辺の神社や公園等へ散歩や買い物に出かけている。計画を立てて花見等に家族会を兼ねて出かけることがある。家族と一緒に外食や自宅に帰ったり墓参に出かけている。職員も希望を聞いて、外出の機会を多くもてるようにしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で管理できる方については散歩のときに郵便局に行って切手やハガキを自分で購入してもらったりしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話がかかってきたら取り次いだりハガキのやり取りも自由にしている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花や行事のポスター等、皆で作成したものを飾ったり、めだかを飼ったりして和めるように心がけている</p>	<p>共用空間は採光や換気・温度湿度などが調整され、掃除が行き届いている。畳のコーナーやテラスもありゆっくりくつろげる。写真や作品などで季節感も取り入れている。花が玄関やリビングに飾られている。育てているメダカのふ化で話題も広がっており、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>時には一人静かにしていきたいという方はソファーに座っていただいたりして他者と距離をおけるようにしている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>基本的に室内は今まで本人が自宅で使い慣れた物を持ってきていただくようにしている。自分の好みの写真等、貼っている方もある</p>	<p>居室の窓が大きく景色が楽しめる。ベッドとクローゼットは備え付けである。寝具や椅子等の使い慣れた物や家族の写真など家族の思いが伝わるものが持ち込まれている。エアコンの調整や換気の取り入れ等で居心地よく過ごせるような配慮がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入浴や排泄が自立して行えるように必要部には手すりをつけたり滑り止めを兼ねたマットを敷いたりしている</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない